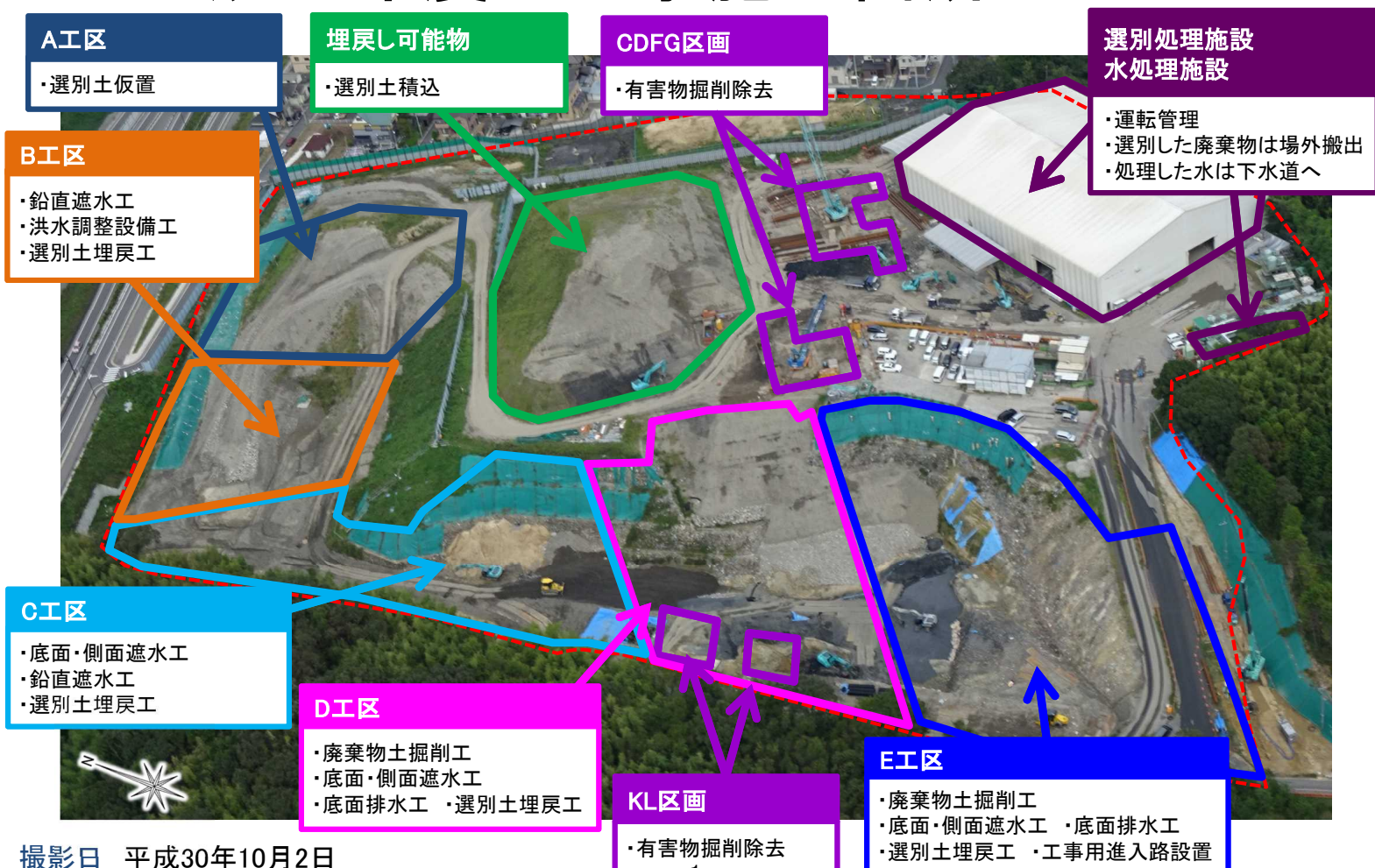


第26回旧RD最終処分場問題連絡協議会

工事等の進捗状況について

平成30年10月22日

平成30年度の工事施工箇所について



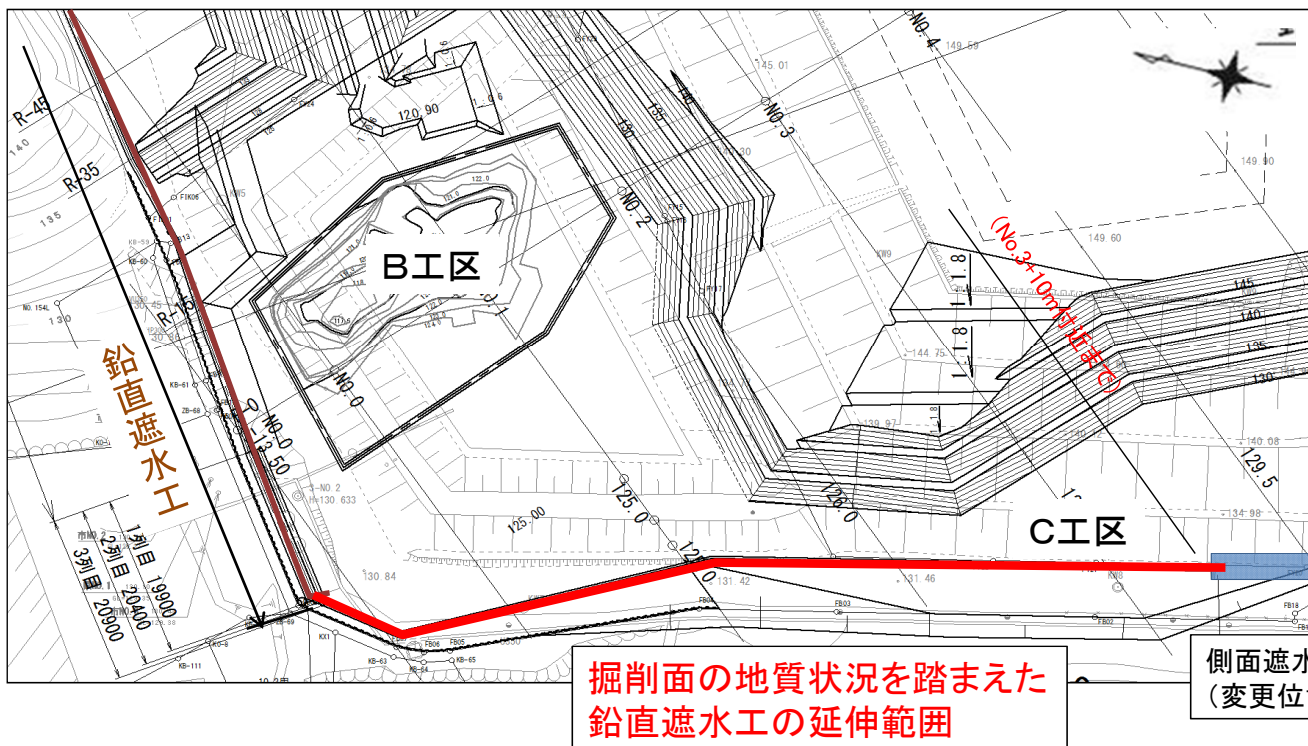
# 平成30年度 工程表(案)

工区	工種	単位数	年数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31.1月	2月	3月	
				15 30	15 31	15 30	15 31	15 31	15 31	15 30	15 31	15 30	15 31	15 31	15 31	15 28
A工区	選別土埋戻工	式	1.0							実績←	→計画					
B工区	鉛直遮水工	式	1.0									鉛直遮水工				
	洪水調整設備工	式	1.0			地盤改良							オフィスタワー・放流管			
C工区	選別土埋戻工	式	1.0										選別土埋戻			
	底面・側面遮水工	式	1.0			地盤改良	底面・側面遮水工									
DE工区	鉛直遮水工	式	1.0								鉛直遮水工					
	選別土埋戻工	式	1.0	選別土埋戻												
	廃棄物土掘削工	式	1.0	廃棄物土掘削(有害物掘削K、L区画)												
	底面・側面遮水工	式	1.0	6月1日 現場見学会			底面・側面遮水工			底面遮水工						
有害物掘削	選別土埋戻工	式	1.0			選別土埋戻										
	工事用進入路	式	1.0		掘削	掘削			鋼矢板打設							
	CD区画	矢板打設工	式	1.0	矢板打設部置換工				矢板打設工							
		有害物掘削除去	式	1.0				D区画			C区画					
	FG区画	矢板打設工	式	1.0			矢板打設部置換工				矢板打設工(F区画)			矢板打設工(FG区画)		
有害物掘削除去		式	1.0								F区画					
E区画	矢板打設工	式	1.0													
工事全体	選別処理施設	式	1.0	運転管理												

※現時点の工程であり、天候や作業状況等により変更が生ずる場合があります。

【第23回連絡協議会資料(H30.2.23開催)】

## 鉛直遮水工、側面遮水工の範囲



C工区付近概略平面図



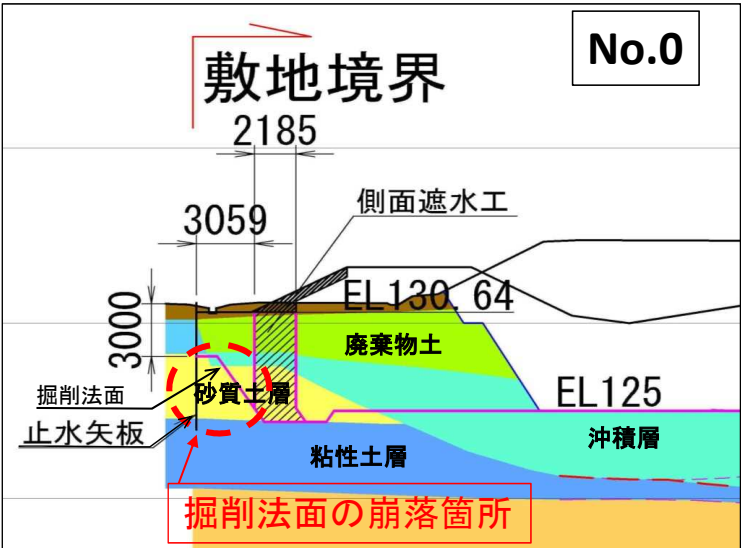
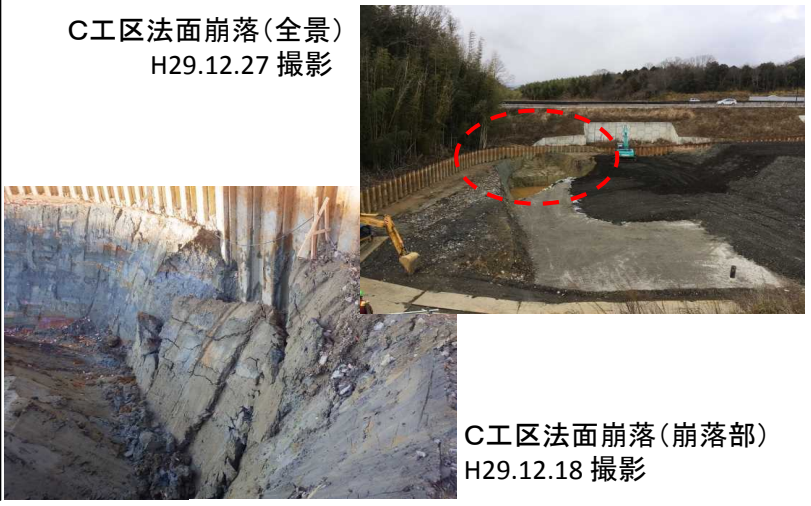


図-5 側面遮水工計画図(想定)

C工区法面崩落(全景) H29.12.27 撮影



C工区法面崩落(崩落部) H29.12.18 撮影

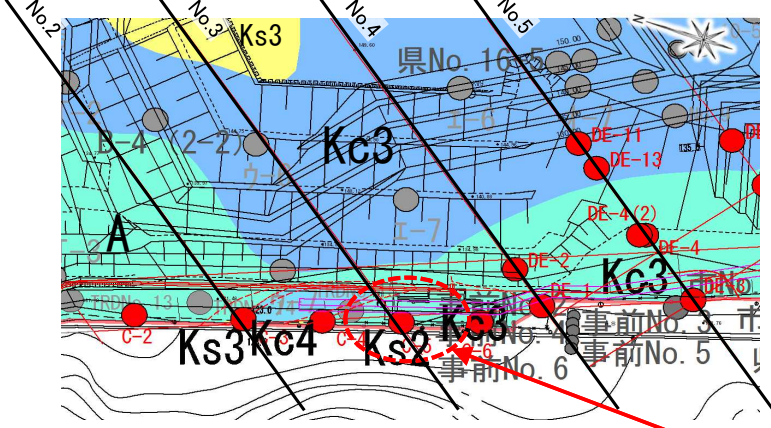
写真-1 C工区状況写真

- No.0-13.5付近で水を多く含み軟弱な掘削法面の崩落が発生し掘削を中断している。No.0以降においても同様に掘削法面の崩落が発生し対応に苦慮することが想定される。
- 粘性土層の位置が当初想定より深く、砂質土層が厚いことも一因と考える。
- No.2からNo.3付近では粘性土層が50cmから1m程度で掘削により盤膨れの発生が懸念される。
- これらの範囲では、側面遮水工から掘削を必要としない鉛直遮水工に変更して施工を行う。
- なお、旧RDが処分した廃棄物は全て掘削除去を行う。

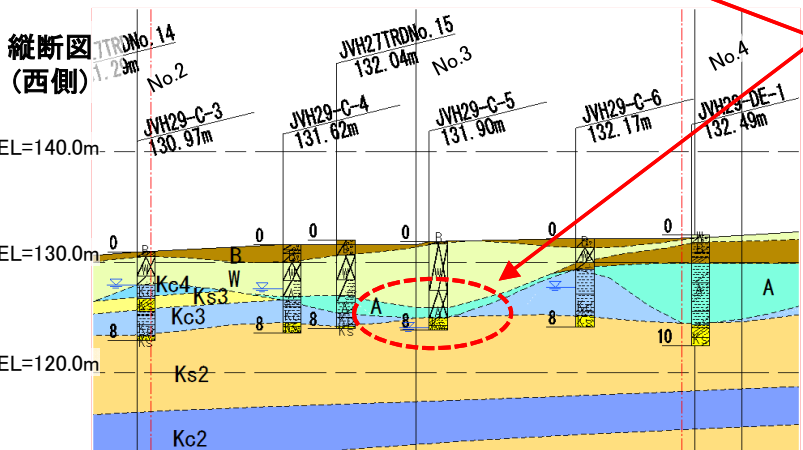
【現場見学会説明資料(H30.3.6開催)】

# 土質調査結果

平面図



縦断面図 (西側)



- 【結果】**
- 事前の土質調査により、以下の2点が判明。
    - ① 調査孔C-5で現地盤高(EL=131.9m)から約6m付近(EL=125.9m)まで家庭系ごみが埋め立てられていた。
    - ② 二次対策工事で実施する遮水工の外側に家庭系ごみが帯水層(沖積層、砂質層)と接している。